

『茅広江』まちづくり計画



I. 私たちの住む茅広江地区

1 茅広江地区の概要

茅広江地区は松阪市の南部に位置し、射和交差点を西進し、直進約7kmほどの所にあります。

櫛田川の左岸にして、山あり川あり田畑あり、茶畑も広がっており、新緑や紅葉の美しい中山間地域です。上茅原、下茅原、広瀬の3区からなり、世帯数は平成26年4月1日現在で、276戸、人口727人で、65歳以上の人口は247人となり高齢化率は34.0%となっています。

茅広江の地名は、1889年(明治22年)4月、町村制の施行により飯高郡茅原村・広瀬村・下出江村・上出江村の区域で構成され、それぞれの各村の一字ずつをとって命名されました。その後、1896年(明治29年)4月、所属郡が飯南郡に変更。1955年(昭和30年)4月に松阪市に編入され、茅広江村は廃止されました。8月には上出江村と下出江村が勢和村(現多気町)に編入されたことにより、現在の区域となりましたが、地名はそのまま継承されています。

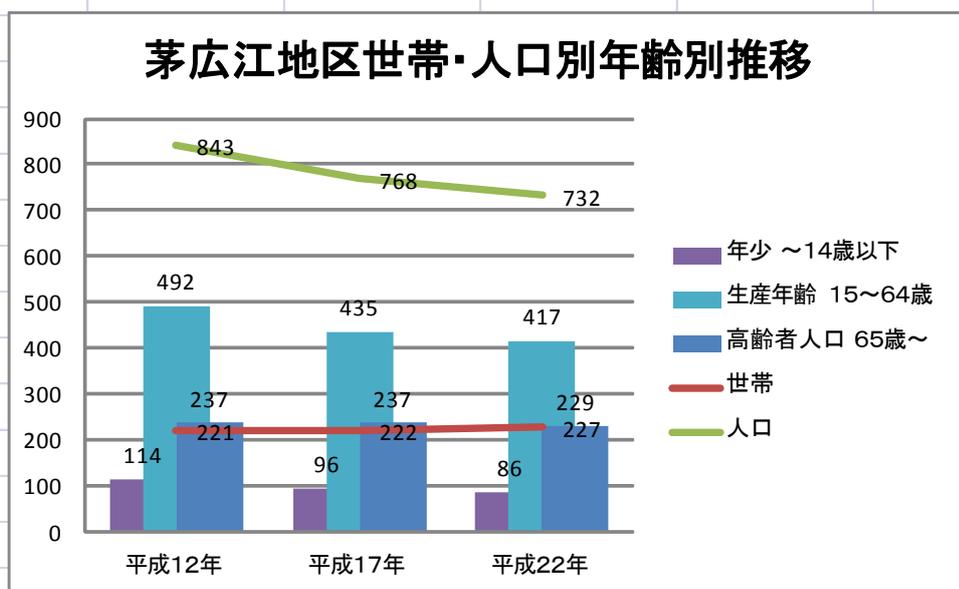
現在、茅広江地区の中間にある下茅原には、郵便局、元茅原小学校跡には、つばな保育園、茅広江地区市民センター、茅広江公民館があり地区活動の中心となっています。

昭和41年3月茅原小学校が廃校となり、茅原町(上茅原、下茅原)は南小学校に統合、広瀬町は射和小学校へ合併、中学生は大江中学校と多気中学校へと校区が分かれしました。校区がわかれたこともあって、人々の繋がりが徐々に少なくなってきたことも課題のひとつとなっており、交流活動もまちづくり協議会の大きな役割となっています。



2 茅広江地区の世帯と人口の推移

総務省 国勢調査資料					
茅広江地区	世帯	人口	年少	生産年齢	高齢者人口
			～14歳以下	15～64歳	65歳～
平成12年	221	843	114	492	237
平成17年	222	768	96	435	237
平成22年	227	732	86	417	229



住民基本台帳データ					
茅広江地区	世帯	人口	年少	生産年齢	高齢者人口
			～14歳以下	15～64歳	65歳～
平成25年4月	268	735	80	419	236
平成26年4月	276	727	77	403	247
一年間の増減	8	-8	-3	-16	11

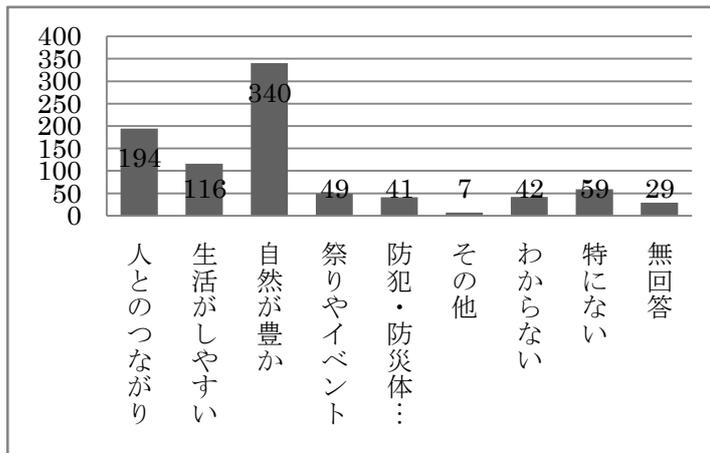
3 茅広江地区を取り巻く現状と課題

◇ 地域の主な問題・課題

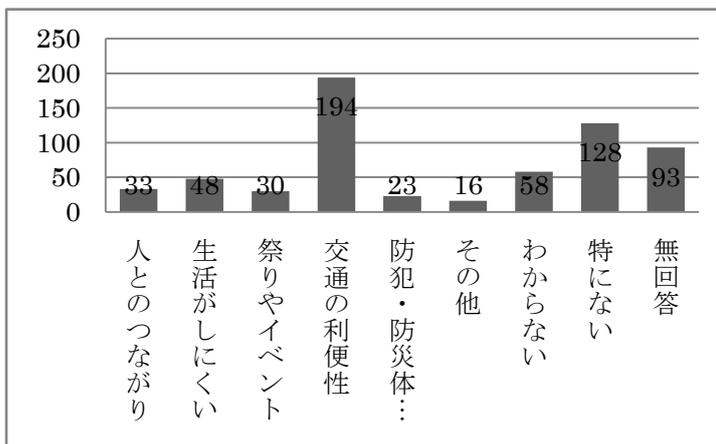
- 地域内に小学校・中学校がなく隣の地域へ通学している現状の中、若者の就労場所が少なく、地域を離れるものも少なくありません。その結果、若者が減り高齢者が増えるという現象が起きています。また、人口が減少する中で、世帯が増えていることから、核家族化が進み、高齢者の単独世帯も少しずつではありますが増加の傾向にあります。
- 高齢化が進む中で、働き世代の農林業への関心が薄いこともあり山林や田畑の管理も難しく、荒廃農地も増えつつあります。また、山が近いため獣害も多く、地域全体に防護網を張り巡らせてはいますが、それでも被害はたえません。
- 地域内を走る県道700号線は、大石と射和を結ぶ幹線で、多気のシャープをはじめとする企業への通勤経路にもなっています。道路はカーブも多く見通しの悪いところもあり、通学や日常の歩行にも危険を感じることもあります。また、公共交通機関として路線バスが運行していますが、交通の利便性に欠けるところもあります。

4-1 アンケート結果から

(問9) 茅広江地区には数多くの「魅力」があると思います。
あなたの思う「魅力」を教えてください。【複数回答可】



(問10) 魅力を感じないところはどこですか。



4-2 アンケートからの要望や意見

防災を含めた安全安心なまちづくり活動

高齢者や子どもへの見守り活動

高齢者や一人暮らしを支援するシステムづくり

健康づくり活動

荒れた田畑を活用する活動

4-3 地域を元気にするアイデアや意見

地域の人々が集う場所や機会を多くもつ

世代間を超えた交流、3地区の交流で学区をこえたふれあう里づくり

健康づくり（ウォーキングコースをつくる、どこでもラジオ体操、グランドゴルフ）

花の咲く郷づくり、里山を守る地域づくり（減反地で花づくり）

ボランティア活動（一人暮らしや高齢者へ、お助け隊の創設）

4-4 10年後、20年後の茅広江をどのようにしたいか

便利で快適にすごせるまちに

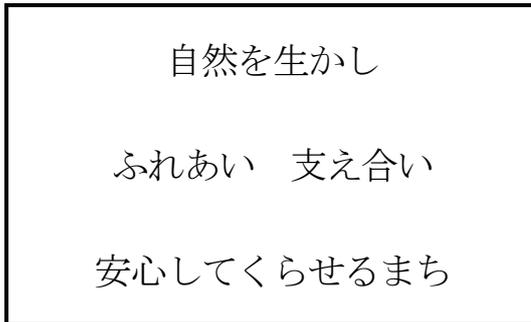
自然や景観が守られているまち

お互いに挨拶が出来るまち

住民が健康なまち

防災、防犯、防火の対策が充実したまち

II. 地域の将来像



【 将来像の考え方 】

茅広江地区は櫛田川沿いに田園風景が広がり、山あり川あり田畑ありの自然豊かな地域です。子育て環境は保育園一園しかありませんが、田畑や六呂木川や櫛田川などのたくさんの自然があふれています。

このような自然を生かした、老若男女がふれあい支え合うことで、子どもたちを育て健康でいつまでも安心して暮らしていけるまちづくりに取り組みます。

III. 地域の目指す姿

(1) みんなに優しいまち・健康づくりを進めるまち《健康福祉分野》

自分や家族の健康に不安を感じる方が多い中、家族や地域を巻き込み世代間を超えた健康づくりを進めていきます。

また、高齢者から子どもまで住みやすい、福祉の充実したまちづくりを進めていきます。

(2) 環境を守り、安心してらせるまち《環境・安全防災分野》

山や川の自然を大切にし、いつまでも地域の環境を守る風土を作っていきます。

また、中山間地域の特徴を生かし、地域と行政が一体となった環境保全活動を展開していきます

更に防災・防犯活動が活発で安心して暮らせるまちづくりをめざします。

(3) 地域の自然・産業・文化を生かすまち《地域振興分野》

地域の自然や特産品を生かしたまちづくりを進めます。また、古くから伝わる祭りの伝承と新しい風を入れたイベントを開催することで、地域の交流を進めていきます。

(4) みんなで学び育て合うまち《教育文化分野》

生涯教育を推進して地域の再発見に努め、世代を越えた交流を生み出すことで地域内での子育てを育むなど、共に学ぶまちづくりをめざします。また高齢者が世の中の情報から取り残されることがない仕組みを考えていきます。

IV. まちづくりの具体計画

■ 分野別の地域計画

(1) みんなに優しいまち・健康づくりを進めるまち《実施主体 健康福祉部会》

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1.健康づくり	健康講座の開設 健康体操・ラジオ体操の実施 ボーリング大会、グラウンドゴルフ大会 ふれあいマラソン&ウォーキング大会 ウォーキングイベント	自主	短期	H27～ (継続)	
2.ふれあいウォーキング	安心して歩け、また楽しくウォーキングが出来るようなコースをつくる。	協働	短期	H27	作業は地域
3.福祉活動	長寿を祝う活動(敬老会、小中学校敬老慰問、はがき) ひとり暮らしの方等「花の慰問」、食事サービス	自主	短期	H27～ (継続)	
	高齢者(各地区の老人会)の食事サービス	自主	短期	H27～ (継続)	
4.老人会組織の立ち上げ	高齢化社会に向け、あらためて老人会組織(3地区連合)をつくり、ふれあえる場を作る。	自主	中期	H27～	
	老人会連合会趣味の会	自主	中期	H28～	
5.ボランティア活動	老人世帯が増える中、自らが整備や活動できないとき、助け合える組織づくりを行う。(地域振興部会と連携)	協働	長期	H30～	

(2)環境を守り、安心して暮らせるまち《実施主体 環境・安全防災部会》

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1.環境美化活動	各自治会環境美化活動（年2回）	自主	短期	H27～ （継続）	
	川の清掃活動（櫛田川、六呂木川他）	自主	短期	H27～ （継続）	
	花いっぱい活動（花づくりサークルの立ち上げ） 花カレンダーの作成	自主	短期	H27～ （継続）	
2.防災活動	3地区合同消火訓練 非常時炊き出し訓練 各地区防災訓練	自主	短期	H27～ （継続）	
	過去の大災害などの聞き取り調査	自主	中期	H28～ （継続）	
3.防犯活動	子どもたちの登下校時の見守り活動	自主	短期	H27～ （継続）	
4.ホタル・ササユリの保護事業	ホタル・ササユリを守るため、環境整備を行う。 たくさんのホタルやササユリが生息できる環境づくりを行う。	自主	短期	H27～ （継続）	
5.動物生息調査活動	ホタルだけでなく、他の動物の生息状況を調査する。	協働	中期	H28～	一部多 面事業 と協働
6.里山の整備事業	荒廃する山林を手入れし、人がふれあえる里山をつくる。 （地域振興部会と連携）	協働	中期	H30～	空農地整備・ 農地に接した 山、行政の助 成

(3)地域の自然・産業・文化を生かすまち《実施主体 地域振興部会》

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1.茅広江 PR 事業	地域内外に向けて茅広江の活動や良さを広めていく。 広報紙の発行（年2回）、電子メディアの活用	自主	短期	H27～ (継続)	
	朝市	自主	短期	H27～ (継続)	
2.地域間交流事業	保育園、小学校、PTA、老人会等と連携して交流する。 (ふれあいまつり、ウォーキング)	自主	短期	H27～ (継続)	
3.特産品を活用した事業	そばづくり体験	自主	短期	H27～ (継続)	
4.ボランティア活動	(健康福祉部会と連携)	自主	長期	H30～	
4.里山の整備事業	(環境・安全防災部会と連携)	協働	長期	H30～	
5.獣害対策	獣害フェンスの保守点検、サルの追っ払い	協働	長期	H27～ (継続)	

(4)みんなで学び育て合うまち《実施主体 教育文化部会》

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1.教養・趣味向上活動	趣味講座、映画・音楽鑑賞、ものづくり教室、体験学習料理教室等	自主	短期	H27～ (継続)	
2.文化・歴史の調査活動	地域に古くから伝わる歴史的遺産の検証や伝承などを調査。	自主	短期	H27～ (継続)	
3.研修活動	文化遺産、工場見学など	自主	短期	H27～ (継続)	
4.地域で子育て支援事業	高齢者による伝統的な遊びなどを伝承する場の設置。	自主	短期	H27～ (継続)	アドバイザー活用
5.人材育成事業	サークルや講座の開設。人材ネットワークの整備。	自主	短期	H28～ (継続)	

茅広江まちづくり協議会地域計画策定経過

- H24.12.19 役員会 地域計画説明会
- H25. 2.20 役員会 まちづくり計画について
- ・アンケートの実施 5月に素案、6月に完成、7～8月に実施、9月集計、10月～2月報告とワークショップの開催
- H25. 3. 8 運営委員会 地域計画策定について
- ・アンケートについて 素案の確認、アンケート結果をもとにいろんな場で意見を聞く。
- H25. 5.15 まちづくり会議
- ・再度地域計画の進め方について説明会の開催。
- H25. 6.26 地域計画策定委員会
- ・策定組織について、地域計画について、アンケート実施について、スケジュールについて
- H25. 7. 8 地域計画策定委員会
- ・アンケート内容の検討、スケジュールについて
- H25. 7.24 事務局打合せ
- ・地域計画についての今後のスケジュールとアンケート集計方法についての打合せ
- H25. 8. 5 地域計画策定委員会
- ・アンケートの集計方法について、各地区での話し合いの方法について
- H25. 9. 4 事務局打合せ
- ・アンケート集計結果の報告とワークショップの方法
- H25. 9.27 役員会
- ・アンケート集計結果のあつかいについて、各地区における話し合いの方法
- H25.10. 7 まちづくり会議
- ・地域計画策定に向けての各地区での話し合いについて「サロンの開催について」
- H25.10. 8 地域計画策定委員会
- ・アンケート結果の地域配布について、地域での話し合いについて「テーマは地域を元気にするためのアイデアを出し合おう」
- H25.10.27 上茅原サロン開催
- H25.11. 2 広瀬サロン開催
- H25.11.13 まちづくり会議
- ・サロン終了後の取り組みについて役員会で整理して策定委員会にはかる。
- H25.11.16 下茅原サロン開催
- H25.12.12 まちづくり会議
- ・サロンででた意見のまとめの報告。今後の進め方について

- H25.12.19 地域計画策定委員会
 - ・各地区サロンで出た意見の報告、今後の進め方では、地域づくりの目標を事務局・役員会で素案を作り次回委員会に提案する。
- H26. 1.10 まちづくり会議
 - ・大目標と中目標の内容検討。サロンの結果を地域へ。
- H26. 1.22 地域計画策定委員会
 - ・地域づくりの目標を各部に合わせて提案。目標に合わせて、アンケートやサロンの意見を参考に活動計画を部会で検討してもらうことに。
- H26. 2.12 まちづくり会議
 - ・各部会で中目標に基づいて具体的な計画を立ててもらう。
- H26.3.13 地域計画策定委員会
 - ・各部の地域計画内容の話し合い
 - ・地域応援事業の応募
- H26.4.10 まちづくり会議
 - ・地域計画の地域住民への広報の仕方を検討
- H26.4.17 まちづくり協議会運営委員会
 - ・各部の地域計画への具体的活動
- H26.5.9 まちづくり会議
 - ・地域計画の今後の計画を検討
- H26.5.11 まちづくり会議
 - ・各部の地域計画についての素案作りの検討
- H26.6.11 まちづくり会議
 - ・10年先までの具体的活動計画を各部に依頼すること検討
- H26.7.4 地域計画策定委員会
 - ・各部に10年先までの具体的活動計画を依頼
- H26.9.25 まちづくり会議役員会
 - ・地域計画実施予定表
- H26.10.7 地域計画作成に向けて打合せ
- H26.10.22 まちづくり会議
 - ・各部の地域計画実施予定表の検討
- H26.11.18 まちづくり会議
 - ・地域計画(案)の検討
- H26.12.18 まちづくり会議
 - ・地域計画(案)の検討
- H27.1.16 まちづくり会議
 - ・地域計画(案)の検討
- H27.2.9 地域計画策定委員会
 - ・地域計画(案)の検討
- H27.4.23 まちづくり協議会総会
 - ・地域計画(案)の承認

茅広江まちづくり計画策定委員（順不同）

委員長	鎌倉光次（茅広江まちづくり協議会会長）（ 24、25、26 年度）
委員	若山岳、小塩正明、船谷幸正、野呂敏（24、25、26 年度）
	鈴木伸幸、鎌倉篤志、青木精一（24、25、26 年度）
	高木達彦、大西達也（24、25、26 年度）
	植村博輝、久保幸實、明空章、藪和博（24、25 年度）
	竹上仁、勝田隆夫、青木勇、中道邦生（24 年度）
	古木利明、川口順子、柴田昌彦（24、25 年度）
	小塩充、勝田節、若山政生、竹林伊代子、勝田和代（25、26 年度）
	竹上俊也、鎌倉達也、角谷智恵子、久保忠秀（25、26 年度）
	世古和也、藪芳春、谷法生（26 年度）
	西村勇、中西新（26 年度）